

政務活動費項目別支出一覧表

会派名： 爽風会

支出年度	30年度	支出項目	研修費	
整理 番号	支出年月日	金額(円)	内容	備考
1	H30. 4. 19	14, 600	受講費	市町村議会議員研修 2日間コース
2	H30. 4. 25	1, 460	交通費	市町村議会議員研修 2日間コース
3	H30. 4. 26	1, 460	交通費	市町村議会議員研修 2日間コース
合計		17, 520		

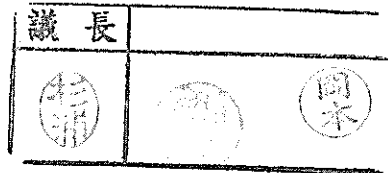
第5 取扱い基準各種様式
手引き様式第1

支 出 伝 票

会 派 名	爽風会	代表者		経理 責任者	
支出年度	30 年度	整理番号 (項目別)	2-1		
支出項目	☐ 調査研究費 ☒ 研修費 ☐ 広報・広聴費 ☐ 要請・陳情等活動費 ☐ 会議費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 事務費 ☐ 人件費				
支出年月日	平成30年4月19日				
支出金額	14600円				
支出先	精華町議会議長				
支出内容	受講費				
備 考	市町村議会議員研修				
領収書等貼付欄 研修報告添付 別紙					

※按分がある場合は、備考欄に按分率を記入のこと。

重ねないで裏面をのり付けしてください。貼りきれないときは別紙に。



別紙様式3（会派研修用）

会派研修報告書

平成30年5月25日報告

編 纂 種 別	議 長	副議長	委員長	会派代表者		事務局長
議 員 研 修 (委員会・会派)						
回 覧						
報 告 者	爽風会 代表 (氏名) 安宅 吉昭 					
標 題	平成30年度市町村議会議員研修 自治体決算の基本と実践 ～行政評価を活用した決算審査～ 講師：関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科教授 稲沢 克祐氏					
研 修 日 時	自 平成30年4月25日（水曜日）12時30分から 至 平成30年4月26日（木曜日）15時15分まで					
研 修 場 所	大津市唐崎2丁目13-1 全国市町村国際文化研修所（国際文化アカデミー）					
主 催	公益財団法人全国市町村研修財団					
参 加 者	爽風会 安宅 吉昭 山下 芳一					
内 容						
上記のとおり管外研修を実施しましたので、下記のとおり報告します。 記						

○ 研修の目的

決算審査の意義・重要性を認識し、地方議員として身につけておくべき決算書類審査のポイントおよび財務指標による自治体財政文責の手法を学ぶ。また、これからの決算審査のあるべき姿を考察し、行政評価や新地方公会計によるバランスシート等の財務書類を活用した決算審査について学ぶ。特に、行政評価手法を活用して事務事業の改善ポイントを検討していく手法を演習を通じて学ぶ。

○ 研修参加者（山下芳一氏）のレポート添付

○ 研修報告書

- 研修内容**
- （１）決算の意義と審査ポイント
 - （２）決算審査の実践
 - （３）決算審査の新しいアプローチ
 - （４）行政評価を用いた決算審査の実践

○変革の時代：ストックサイクル（ヒト、モノ、カネ）の変化

- ①ひと：人口減少、高齢社会
- ②もの：道路や橋、施設も老朽化する
 - ・需要と見合わせて見ていく観点。
 - ・長期的にみると工事費：維持費は３：７と維持費の方が大きいと認識。

○予算と決算

「決算は終わったことだから…でなく、これからの予算の方が大切」即ち、「決算の結果を見て、予算を審議する」スタンスである。

○決算審査における着眼点

①基本方針・予算審議（当初・補正）との関連から審査する。

- ・住民の視点から審査する。
- ・全体を捉えてから細部の議論をする。

②視点 （１）財務数値の視点

- ・財務数値の視点（年度比較、変化の主たる要因）
- ・決算収支の状況の年度比較（前年度比較、主たる要因）
- ・予算の執行状況の分析（大きな変化の有無）
- ・財政構造の分析（歳入・歳出の構成、財務比率）
- ・地方債および債務負担行為の状況（年度間比較）

（２）財産の状況

- ・施設等（財産の实在、財産調書、適切な管理、施設の老朽化等）
- ・出資団体等（事業の必要性、行政関与の必要性等）

(3) 成果の検証

- ・行政サービスの当初の目標は達成されたか。
- ・経済性、効率性の観点はどうか。

③ 地方財政

- ・歳入：どのようにお金が集まってくるか。
地方税・地方交付税・国庫支出金・地方債の四大税源。
- ・歳出：どのようにお金を使うか。
目的別と性質別における歳出の様子の把握。

④ 行政評価を用いた決算審査

○秩父市の「介護ボランティア養成講習会」の事例研究

資源（財・人）投入 → 活動 → 結果 → 成果
(予算 300 万円) 講習会 60 回 300 人受講 200 人実践

【 効 率 性 】

需要 → 投入 → 活動 → 結果 → 成果
【 必要性・妥当性 】 【 有 効 性 】

- ・成果とは行政の仕事により住民生活の質、地域の状態がどう変わったか。
今が課題な何か、どう解決するのか。1年後に住民に説明・理解されるか。

○名古屋市の成人基本健康診査」事務事業評価の事例

目的：40 歳以上の市民に成人保険対策、健康の保持増進に努める。

目標：受診率 60% (55%からのアップ)

ポイントは早期発見者数、そのためには受診率を高めること。

②もの：道路や橋、施設も老朽化する

- ・需要と見合わせて見ていく観点。
- ・長期的にみると工事費：維持費は 3 : 7 と維持費の方が大きいと認識。

研修所感

決算審議の研修では大事な観点は次の通り認識し、大いに参考にしたい。

(1) 予算の捉え方

①自治体の使命は公会計の経営、すなわち「行政サービス提供能力」である。

インフラ効果という観点では道路拡幅工事で渋滞解消するという例、時間短縮による経済効果、また事故減少による医療費の減少まで見る。

②また、教育投資は教育水準の向上により生産性アップ、犯罪の減少という効果まで見るということ。

(2) 行政評価の視点

①外部評価や市民による評価もあるが、議員が評価することが最も相応しい。それは住民代表であり、予算議決権を持つ立場であり最適任者である。議会としてメリハリ、重点志向で当たることが大事である。

②徳島市議会では委員会で事業を決めて、行政を動かすという手法が実行段階にあるという。

(3) 決算の本義

① 財政民主主義

- ・ 地方税・地方債など住民負担させることは議会の承認を得る。
- ・ 歳入と歳出は予算という形式と文書で承認を得る。
- ・ 予算の結果は決算という形式と文書で承認を得る。

② 決算重視の財政マネジメント

- ・ 予算では決算審査をすることで考えておくこと。
- ・ 決算は検証するということで大事である。

③ 新たな決算審査のあり方

- ・ 総括質問が検証可能であること。
- ・ 何を布石と打っておけばいいかということ。

研 修 報 告 書

平成 3 0 年 5 月 2 2 日

爽風会

代表 安宅 吉昭 様

爽風会

山下 芳一

下記のとおり、研修に参加しましたので報告します。

記

1. 研 修 先 名	公益財団法人全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所
2. 研修の目的	平成 30 年度市町村議会議員研修〔2 日間コース〕 第 1 回自治体決算の基本と実践 ～行政評価を活用した決算審査～
3. 研 修 内 容 (ヒヤリング内容を記載)	4 月 25 日(水) ①10:50～12:00 開講(含、入寮)オリエンテーション ②13:00～15:35 【講義】決算の意義と審査のポイント ③15:50～17:00 【演習】決算審査の実践 ④18:15～20:00 交流会 4 月 26 日(木) ⑤ 9:25～12:00 【講義】決算審査の新しいアプローチ ⑥13:00～15:00 【講義・実践編】行政評価を用いた 決算審査の実践 ⑦15:00～15:15 閉講・事務連絡 講義・指導は、関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科 教授 稲沢克祐 先生

4. 所 感 (個人的な感想・ 本町への応用等)	(1) 自治体決算の基礎として、変革の時代に際してストックサイクル(ヒト、モノ、カネ)の変化を見ていかなければならない。 ヒトであれば、人口減少と高齢社会 モノであれば、道路や橋、施設も老朽化する カネであれば、これからの地方財政の課題 これらのことを、具体例を提起してもらい客観的に考えることができた。 (2) 自治体決算の基礎を学ぶことができた。 ①決算の結果を見て、予算を審議する②予算項目は全て歳入歳出決算書に③決算から予算へ連続性で考える④決算の流れ⑤決算書⑥議会による決算認定等の手順で、行政成果の検証を財政状況を踏まえながら見ていくことや「一時的な赤字負担」がどこで反転していくのか負債の見方も学ぶことができた。 (3) 一度に理解することは難しかったが、法定書類について用語基礎知識を蓄えることができた。 (4) 決算審査における着眼点 《基本方針》予算審議との関連から審査 住民の視点から審査 全体を捉えてから、細部の議論 《視点》財政数値の視点、財産の状況の視点、成果の検証の視点 これらのことについて、具体的に学び考えることができた。 【例】出資団体の検証 ①出資法人の実施している事業の必要性(住民ニーズ)は？ ②事業の必要性はあっても、行政関与の必要性は？ ③行政関与の必要性が認められても、出資法人は最適か？ ④出資法人が最適と認められても、経営基盤は？ 自治体関与の在り方 ①補助金による事業の効果 ②委託料による事業の実績 ③損失補填の状況 着眼点に基づきながら資料を見る実習をすることができた。 (5) 地方財政の用語理解 歳入…どのように、お金が集まってくるのか 歳出…どのように、お金を使うのか この視点から、目的別歳出の様子、性質別歳出の様子を都道府県と市町村の平均を見ながら把握した。 【例】目的別歳出の様子 都道府県 ①教育費 22.6%②土木費 19.1%③公債費 11.7%… 市町村 ①民生費 20.4%②土木費 18.9%③総務費 12.7%…
---	---

	(6) 実質収支比率、財政調整基金残高、実質単年度収支比率からの財政状況の把握や弾力性・硬化性の把握を学んだ。 (7) 財政状況を見るに、類似団体との比較も参考にすることの大切さを学んだ。 (8) 公会計制度改革の理解として ①発生主義の導入②地方公会計の効果と分析の視点③貸借対照表の理解と分析の視点③固定資産と流動資産④分析指標による比較分析等について、基本用語を踏まえながら資料を見る練習を行った。 (9) ある市町の「平成 28 年度 財政状況資料集」「一般会計歳入歳出決算書」「財政状況類似団体比較カード」「経年決算状況」「財務報告書」「基本事業評価シート」「財務書類」等を活用しながらの 1 泊 2 日の研修であった。議員になって 1 年が過ぎようとしている時に、大変刺激になり大いに勉強になったことは勿論であるが、専門知識の不足を痛切に感じた。 (10) 公会計が導入され、住民の方に対して「透明性の向上」「行政経営マネジメントの向上」「資産・債務の適切な管理」のアカウンタビリティが行われるように議員としての力量向上に努めなければならないと意を新たにした。
--	--

第5 取扱い基準各種様式
手引き様式第1

支 出 伝 票

別紙

支出年度	30年度	整理番号	2-1
領収書等貼付欄			

領 収 書

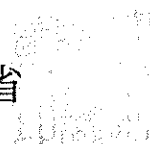
一金 7,300 円

ただし、「平成30年度市町村議会議員研修 2日間コース
第1回自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査
～」受講に要する経費として上記の金額を領収しました。

平成30年 4 月 19 日

精華町議会議員 山下 芳一 様

精華町議会議長 杉 浦 正 省



第5 取扱い基準各種様式
手引き様式第1

支 出 伝 票

別紙

支出年度	30 年度	整理番号	2-1
領収書等貼付欄			

領 収 書

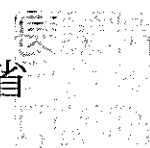
一金 7,300 円

ただし、「平成30年度市町村議会議員研修 2日間コース
第1回自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査
～」受講に要する経費として上記の金額を領収しました。

平成30年 4 月 19 日

精華町議会議員 安宅 吉昭 様

精華町議会議長 杉 浦 正 省



第5 取扱い基準各種様式

手引き様式第1

支 出 伝 票

会 派 名	爽風会	代表者		経理 責任者	
支出年度	30 年度	整理番号 (項目別)	2-2		
支出項目	☐ 調査研究費 ☒ 研修費 ☐ 広報・広聴費 ☐ 要請・陳情等活動費 ☐ 会議費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 事務費 ☐ 人件費				
支出年月日	平成 30 年 4 月 25 日				
支出金額	1460 円				
支出先	近 鉄、JR				
支出内容	交通費				
備 考	市町村議会議員研修				
領収書等貼付欄					
別紙参照					

※按分がある場合は、備考欄に按分率を記入のこと。

重ねないで裏面をのり付けしてください。貼りきれないときは別紙に。

旅費計算書(交通費)

利用月日	出発地	到着地	交通機関		単価	人数	金額	領収書	備考
平成30年	新祝園	京都	鉄道・航空機・バス・他	運賃(片道・往復)・	490円	2	980	無	(2)-2 券売機
4月25日				料金(特急・急行・指定)					
平成30年	京都	唐崎	鉄道・航空機・バス・他	運賃(片道・往復)・	240	2	480	無	(2)-2 券売機
4月25日				料金(特急・急行・指定)					
平成 年			鉄道・航空機・バス・他	運賃(片道・往復)・					
月 日				料金(特急・急行・指定)					
平成 年			鉄道・航空機・バス・他	運賃(片道・往復)・					
月 日				料金(特急・急行・指定)					
平成 年			鉄道・航空機・バス・他	運賃(片道・往復)・					
月 日				料金(特急・急行・指定)					
平成 年			鉄道・航空機・バス・他	運賃(片道・往復)・					
月 日				料金(特急・急行・指定)					
平成 年			鉄道・航空機・バス・他	運賃(片道・往復)・					
月 日				料金(特急・急行・指定)					
平成 年			鉄道・航空機・バス・他	運賃(片道・往復)・					
月 日				料金(特急・急行・指定)					
交通費合計額					1460 円				

第5 取扱い基準各種様式
手引き様式第1

支 出 伝 票

会 派 名	爽風会	代表者		経理 責任者	
支出年度	30 年度	整理番号 (項目別)	2-3		
支出項目	☐ 調査研究費 ☒ 研修費 ☐ 広報・広聴費 ☐ 要請・陳情等活動費 ☐ 会議費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 事務費 ☐ 人件費				
支出年月日	平成 30 年 4 月 26 日				
支出金額	1460 円				
支出先	近鉄 JR				
支出内容	交通費				
備 考	市町村議会議員研修				
領収書等貼付欄					
別紙参照					

※按分がある場合は、備考欄に按分率を記入のこと。

重ねないで裏面をのり付けしてください。貼りきれないときは別紙に。

旅費計算書(交通費)

利用月日	出発地	到着地	交通機関		単価	人数	金額	領収書	備考
平成30年	唐崎	京都	鉄道・航空機・バス・他	運賃(片道・往復)・	240	2	480	無	(2)-3 券売機
4月 26 日				料金(特急・急行・指定)					
平成30年	京都	新祝園	鉄道・航空機・バス・他	運賃(片道・往復)・	490	2	980	無	(2)-3 券売機
4月 26 日				料金(特急・急行・指定)					
平成 年			鉄道・航空機・バス・他	運賃(片道・往復)・					
月 日				料金(特急・急行・指定)					
平成 年			鉄道・航空機・バス・他	運賃(片道・往復)・					
月 日				料金(特急・急行・指定)					
平成 年			鉄道・航空機・バス・他	運賃(片道・往復)・					
月 日				料金(特急・急行・指定)					
平成 年			鉄道・航空機・バス・他	運賃(片道・往復)・					
月 日				料金(特急・急行・指定)					
平成 年			鉄道・航空機・バス・他	運賃(片道・往復)・					
月 日				料金(特急・急行・指定)					
平成 年			鉄道・航空機・バス・他	運賃(片道・往復)・					
月 日				料金(特急・急行・指定)					
平成 年			鉄道・航空機・バス・他	運賃(片道・往復)・					
月 日				料金(特急・急行・指定)					
交通費合計額					1460 円				